

科学研究費助成事業 研究成果公開促進費 国際情報発信強化（平成25年度採択分）  
**日本人類遺伝学会公式論文誌の姉妹誌を創刊し、2誌それぞれの役割に沿って総合的に学会の学術情報発信力を高めるための取り組み**（課題番号：251008）

学術刊行物の名称：**Journal of Human Genetics(JHG), Human Genome Variation(HGV)**  
 学術団体名：一般社団法人 日本人類遺伝学会 事業期間：平成25年度～平成29年度

### 取組概要

JHGでは、投稿数が増加傾向にあり、受理できない論文が増える中で、それら不受理論文の中に“既知の疾患遺伝子に見出された新規の変異の報告”というジャンルに区分しうるものが多くあることに着目した。この種の論文は報告数も多く、出版機会の需要もあるものの、出版を引き受ける媒体は国際的にも殆どない。少数とはいえ新規の変異の報告であればその特定の疾患や地域に注目する研究者にとっては貴重な情報となりうるので、適切な形で出版し、その情報を常に誰もが利用できるような媒体を作ること、それら論文の著者だけではなく、内外の人類遺伝学および臨床遺伝学関係者にとっても大変有益である。従って、それら疾患遺伝子の新規変異に関する報告(短報)を主要なコンテンツとするオープンアクセスジャーナルHGVを、JHGの姉妹誌という位置づけで創刊することを企画した。



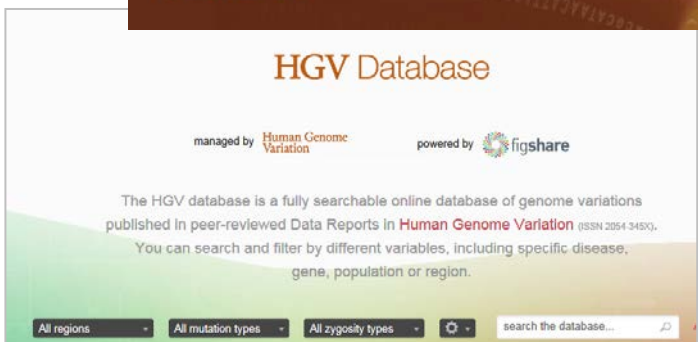
### HGV 構想

- ◇ 既知の疾患遺伝子における新規変異報告の短報を積極的に掲載する
- ◇ 報告された遺伝子変異データをあつめたデータベースを付帯させ、データの有効活用を図る
- ◇ オープンアクセスで誰でも読めるようにする

### 達成状況及び今後の計画

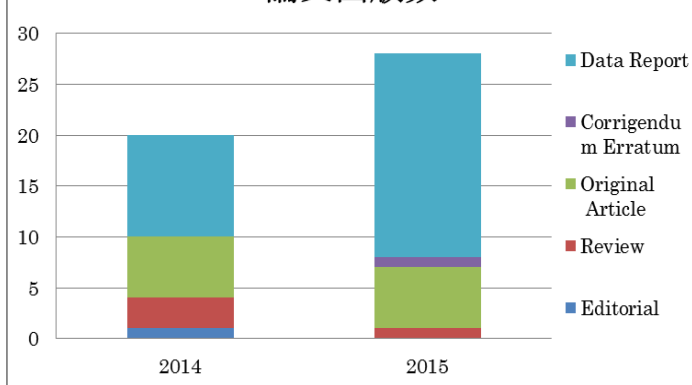
取組は先の計画に沿って進められ、2014年7月に姉妹誌 Human Genome Variation(HGV)が創刊された。HGVには簡易データベースが付帯され、Data Report という短報で報告された新規の遺伝子変異データが誰でも検索、閲覧できるようになっている。データベースはジャーナルと相互リンクされ、双方向に閲覧が可能。これまでに50件の論文が採択された。HGVは出版開始1年でPubMedへの収録が内定し、今後さらに論文投稿が増えることが見込まれている。JHGからの移行論文も含め、順調に投稿数、出版数を増やし、計画に沿った形でのジャーナルの成長を確実にし、2017年までにJournal Citation Reportに搭載されインパクトファクターを獲得するのが今後の目標である。

### Human Genome Variation

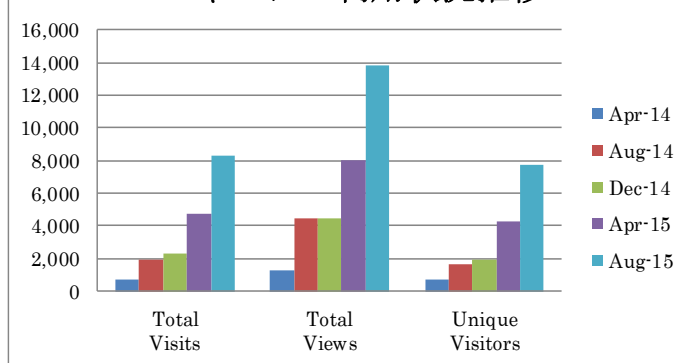


↑ジャーナルのバナー、データベースのスクリーンショット

### 論文出版数



### ジャーナル利用状況推移



OPEN ACCESS

Novel rare variations of the oxytocin receptor (OXTR) gene in autism spectrum disorder individuals - Xiaoxi Liu, et al.

Human Genome Variation

反響の多かった7月刊行の論文を紹介するバナー